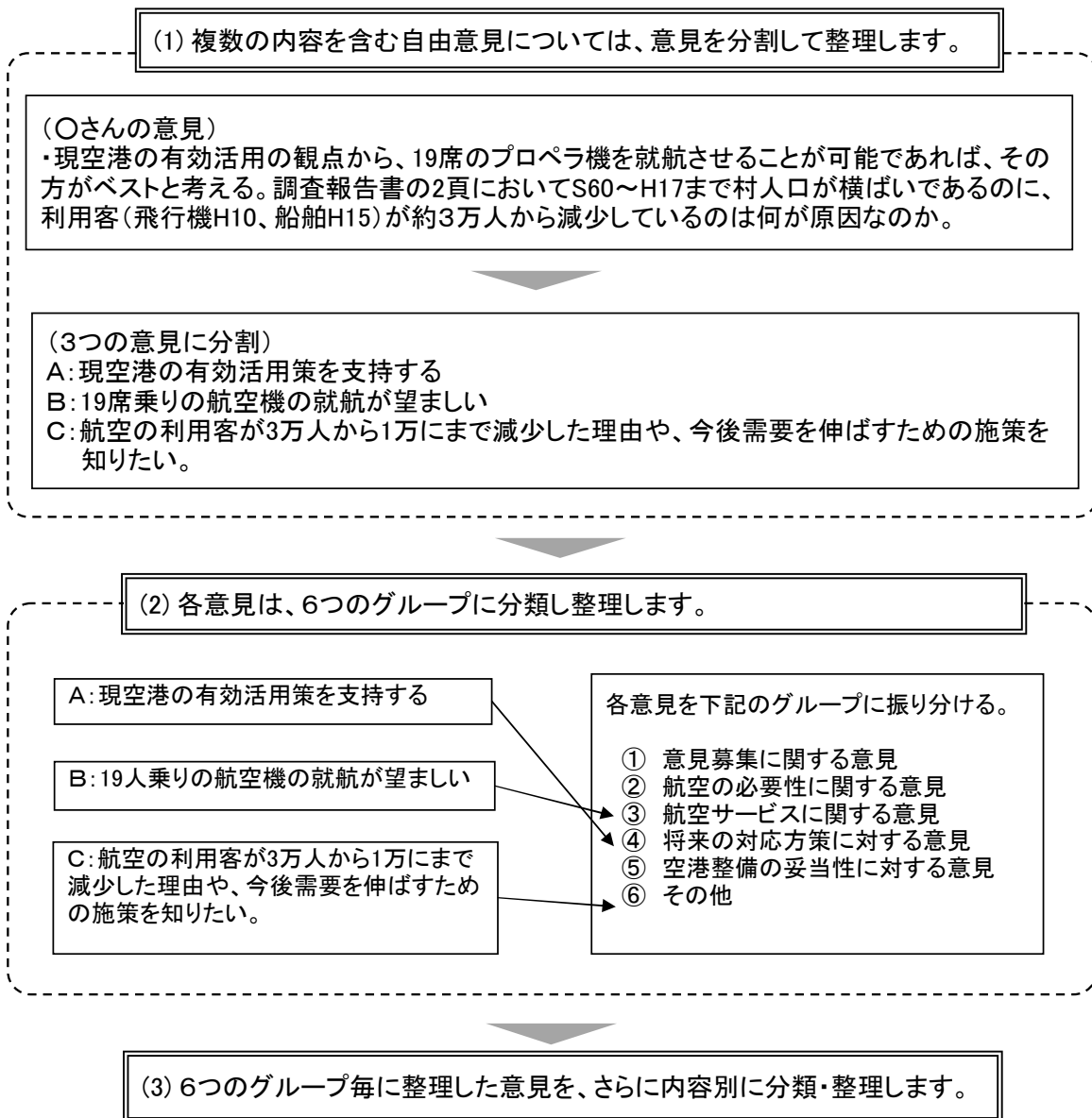


■ 栗国空港PIに寄せられたご意見

☆自由意見を分類する方法

- (1) 複数の内容を含む自由意見については、意見を分割して整理します。
- (2) 各意見は以下の6つのグループに分類し整理しました。
- ① 意見募集に関する意見
 - ② 航空の必要性に関する意見
 - ③ 航空サービスに関する意見
 - ④ 将来の対応方策に対する意見
 - ⑤ 空港整備の妥当性に対する意見
 - ⑥ その他
- (3) 6つのグループ毎に整理した意見は、さらに内容別に分類・整理します。

～自由意見の内容の分類のイメージ～



<分類・整理の結果>

- 全714通のうち自由意見が書かれていたものが313通ありました。
- この自由意見を内容別に分類整理すると480件の意見に整理されました。

■ 栗国空港PIに寄せられたご意見の分類・整理

1. 意見募集に関する意見 (19件)		
① PIの進め方に関する意見 (13件)		
1	1	村民の声は？ 栗国空港の将来の対応方を検討する上で、「民意」「立地案の専門家からの調査」が重要だと思う
2	2	意見募集でわかりづらい部分があった。現空港を活用して1日複数往復を行ってほしい
3	3	観光客の増加と人口増加は必ずしも比例しないのではないかと？負の問題として、観光客増加と比例して増加するのは、ゴミと犯罪が増える。要は、島民が何を望んでいるのか？が問題である
4	4	行政が勝手に動いているだけで、島民に今何が必要かを考慮して欲しい
5	5	「理解できた」と云うのは賛成という意味ではありません。わざわざ埋め立て等、費用を使って進めていく意味があるのか？海の生態系等まで変えてまで空港を拡張する意味はあるのか？全く理解できません
6	6	老人には一人ひとりに説明して意見募集して下さい。家庭訪問することにより多くの方が回答すると思います
7	7	栗国島に空港が必要な理由をもっと提案していかないと現在の厳しい財政状況のなか、誰も新しい空港整備投資は賛成しかねると思います
8	8	観光客としては、せめて2往復/日はないと訪島希望者は不便に感じると思います。これは島民も同じだと思います。その反面で、小型機による荷物10kg制限も、島民、観光客には厳しいと思います。個人的な理想型はDHC8-100による那覇⇄栗国⇄久米島⇄那覇の三地点運航による2往復/日です。現状でドルニエか空港拡張か難問ですが、空港の維持管理費まで考えてデータを公表して、多くの人々から支持される計画を今後も検討をお願いします
9	9	県の当初計画案は全て海上への拡張であった。村の計画立案は東側であった。なぜ西側拡張と変わったのか。AB両案は民家上空飛行コースがだめ。B案なら新たな場所を探せ。大型機導入した場合、再度採算割れが生じた時、責任の所在、未決の収用委員決定の処理は地権者の意見を充分に聞くこと。村民の合意形成を尊重すること
10	10	大きい飛行機を1日2往復又、小さい飛行機とありますがそれは、実現可能なのでしょうか？不可能な事を問うのはおかしいです。村、県の意向では、39名席の機体かどうかはありますが？
11	11	今回の意見募集で、「事業の必要性」と「施設整備の妥当性」について意見を伺うとなっていますが、どのように判断するかよくわかりません。 特に、回答の選択肢が、「理解できた」、「ある程度理解できた」、「よくわからない」となっていますが、「事業の必要性」と「施設整備の妥当性」を判断するのであれば、回答の選択肢は、「賛成」、「どちらともいえない」、「賛成しない」などとなるのではないのでしょうか？ パンフレットの内容が理解できることと、事業に賛成するということはイコールではありません。 今回の意見募集の内容が「事業化に向けた検討を継続するか否かを判断」するには不十分だと思います。
12	12	チャーター便での運航では、離島の生活に支障を生じさせていると考えられ、定期便を就航できるよう航空会社の意向も踏まえ、早期に対応すべき。 問10については、「小さな飛行機」、「大きな飛行機」だけの選択項目ではなく、「定期就航が図られるための整備であれば、大きさ、便数にはこだわらない」という項目を設けた方がよいと思われる。
13	13	PIの調査報告書をモノレール駅にて入手しました。モノレール駅を利用していない人達は栗国空港の整備事業についてあまり知らないのではないのでしょうか。大きな事業ですので沖縄県のHPのトップに載せる、マスメディアを通して告知する、説明会を開くなど最大限のPI(住民参画)を行うことを希望します。 また、本島北部や離島への配布状況はどうされているのか疑問です。市町村広報などに載せることを希望します。
② 調査報告書に関する意見 (6件)		
14	1	Do228の就航可能性が鍵。もし可能なら「空港整備は必要ない」が結論となる。運航補助、機材購入補助など県がどこまで踏み込んで、エアラインに提示できるか、早急な結論が必要。空港整備はDo228の就航に見通りが立たない場合に検討されるべきもので、工事を伴う空港休止期間なども情報提示して欲しかった。A案、B案で言えばA案。小規模に海を埋め立てることを恐れてはならない。現空港>A案>B案
15	2	「村のむらづくり」については、離島一般の将来像は示されているが、栗国島が具体的に何を目標しているのか、明確に示した方がよい。「現状」と「現空港を活用する案」は左側に寄せ、「滑走路配置案の考え方」と入れ替えた方がわかり易い。「現空港を活用する案」はとってつけたような印象を受ける
16	3	事業期間が分からない。いつ着工して、いつから供用するのか？
17	4	具体的に何がしたいのか解らない。どこの市町村でも同じことをやっているが
18	5	・問10の意味がよく分からない。(運航方法としてどっちが良いかということ？ そうであれば小さな飛行機が良いと思う。) ・最も安いと思われる現空港の滑走路を南側へ延長するだけの案が無いのか疑問。 ・離島空港整備は需要と関係無く、地域格差是正の観点から事業を進めるべき。
19	6	10年後の栗国島の人口「1,000人」の根拠がよくわかりません。 平成17年頃まで、航空利用客が15,000人いたということですが、公共事業が盛んであったなどの社会的要因(背景)が理由ではないのでしょうか？ 観光や地元の方だけでそれだけの利用があったのでしょうか？

2. 航空の必要性に関する意見 (99件)

① 船舶は欠航が多くてあてにならないという意見 (27件)		
20	1	船の欠航が多く、又繰上げ出港が多い。船を大きくして港をあと1つ作る。風の方向で港を使い分ける。飛行機で行って船で帰る、船で行って飛行機で帰るなど選択が増える。
21	2	郵便が船でしか来ないので早急に郵便を運べる様にしていただきたい。船は欠航が多くあてにならない
22	3	船は欠航が多い為、あてになりません。せめて飛行機の定期便を運航していただき、物資、郵便等を運んでほしい
23	4	仕事で月に1度粟国島へ行きますが、飛行機が小さく予約が取れない時が多く、今よりも大型な飛行機の運航を希望します。船だと2時間かかり仕事ができなく、また船は欠航が多く不便です。
24	5	2~3ヶ月に1度島に帰りますが、船は欠航が多く困っていますので、早急に飛行場を整備してもらいたい。また航空運賃を安くしていただきたい
25	6	フェリーの欠航が多い為、行事で島に行けない時が多い。もっと交通の便がよくなってもらいたい
26	7	妹家族が島に住んでいます。資料にもあった様に冬場はどうしても船が当てにならず、飛行機に頼らなければならず、飛行機が運休したら、とても困ります。是非存続をお願いします
27	8	月1度出張で粟国島に行きますが、船便は安いのですが、欠航が多く期待できない。船便は欠航が多いので、せめて飛行機は欠航が少ない方がいいと思います
28	9	船の欠航が多いので、欠航が少ない飛行機を運航してほしい
29	10	粟国には船等を利用するが、欠航が多いので、飛行機を利用する。9名乗りは欠航や満席が多いので、少し大きめの飛行機を運航してほしい
30	11	港の作りが悪く、船の欠航が多くて、急な用事で那覇に出たい時は不便なので、欠航が少ない飛行機を運航してほしい
31	12	欠航の少ない飛行機がいいので大型化してほしい
32	13	船の欠航が多いので、欠航が少ない飛行機の運航をしてほしい
33	14	船の欠航が多いので、物資が運べる飛行機の運航をしてほしい
34	15	粟国島へは月に1度伺いますが、船の欠航が多いので飛行機は欠航の少ない大きな飛行機を運航してほしい。また、現在の飛行機では荷物あまり運べない。9名ですぐ満席になるので予約が取りづらい
35	16	船の欠航もあるので、1日複数往復してほしい。海の自然環境を将来に残す為に陸上案がいいです。
36	17	粟国島は船の欠航が多く、最悪のときは1週間以上欠航する場合があるので物資が運べる飛行機を運航してほしい。是非お願いします。
37	18	船の欠航が多々あるため現在の飛行機だがすぐに満席になり困る事があります。不便さを感じます。缶詰に状態になるのももう懲り懲りです。早期整備実現を！
38	19	冬場とか台風時には船が長い間欠航する時があるので是非大型化していただき生活物資が運べる欠航が少ない飛行機の運航をお願いしたい。
39	20	冬は船の欠航が多いので早めにつけてほしい
40	21	船は欠航が多すぎたよりにならない。
41	22	冬場、夏でも船の欠航が多いので色々な事で飛行機は必要
42	23	船の欠航が多いので、物が運べる飛行機の運航をしてほしい。
43	24	現在の飛行機より少し大きくしてほしい。生活物資が運べるくらいの飛行機 船の欠航が多いので
44	25	現在の飛行機より大きくして下さい。9人乗りで、すぐ満席になるので急な用事とか不便である。また、船がよく欠航するのでお店に物がなくなったりするので貨物を運べる飛行機にしてほしい。
45	26	船があてにならないので今の飛行機より大きくしてほしい。早急に！
46	27	船の欠航が多い為、飛行機は欠航が少ない様にして下さい。
② 島で安心して暮らすために航空が必要だという意見 (23件)		
47	1	離島で安心して暮らせる様に交通の便を良くしてほしい
48	2	久米島より沖繩本島に近い距離にありながら交通の便が不便である現状は、これから島の発展の為にも不利であると思います。現在の第一航空では、荷物だけでなく郵便物等が運べず通信網も停滞してしまうので、定期航空路の運航を期待しています
49	3	年老いた親に会いに行くのに自営だと交通の便が確実に利便性がないと行き来が困難であるので、病院に通院させたり、時間面等で飛行機の運航が是非必要だと感じています
50	4	高校生の子供達の様子を見に行く度に交通の不便さを感じています。那覇の方へ出ると予定通り帰れないなど不自由な面が多々あり、是非とも空港便を確立して頂きたいと思います
51	5	我が島への往来は空も海も重要である。生きている間、何回行き来するかわからない
52	6	故郷への交通は飛行機も船も重要

53	7	離島に生きる人々の命に関わる空と海の航路は最も優先されるべきである。経済、教育、文化、医療等、我が島は市街地那覇を基に動いている
54	8	離島の命脈である空と海の交通路はその島に生きる人々の生存の重要条件である
55	9	病気で那覇に行きたい時、飛行機がないと困る。早く定期便をお願いします
56	10	医療体制の確保(軽い疾病など)の上、住民の生活環境改善の上でも必要であると思う
57	11	人口が減っていき、将来の過疎化で島に住めなくなる。交通の安定こそ島で生活できる早期に空港を広めて下さい。飛行機・船は島に住む者の命綱(国道)と一緒に。是非離島苦の振興に目を向けて真剣に取り組んで下さい
58	12	郵便物を航空機へ搭載できず大変支障がある。早期拡張し、通信・物流の是正をお願いします。「離島苦は交通にあります」早期実現をお願いします。
59	13	未来の子供たちのためにもまた過疎化が進む状態は「交通の利便性しかないと思います。」
60	14	離島の必要性を是非実現させてください。(交通の手段としての航空便)
61	15	離島においては、船か飛行機での利用なるが海がしけると空の便を利用しないと用事がある時は大変困ります。是非、早く滑走路の拡大をお願いします。
62	16	船は欠航が多く島での生活は不安です。子ども達が中学を卒業すると島から本当へ移動する予定です。生まれて育ったままからですのは、とてもつらいです。船、飛行機、特に飛行機を大型化して交通の便を計ってください。そしたら島から出なくても安心して島で生活が出来ます。大型化、空港拡張に頑張ってください。お願いします。
63	17	交通が不便で島に住めなくなる。特に高齢者は病院への通院は飛行機でないと2時間の船旅は厳しいです。早期に空港拡張してください。
64	18	離島苦は交通の不便からあるので交通を良くしてもらいたい。
65	19	船(フェリーあぐに)は欠航が多く島での生活が不安である。病院への通院や子ども達の教育面等交通が悪いと那覇への転出しなければならぬ。ぜひとも飛行場を拡張し大型化をしてください。お願いします。
66	20	人間にだけでなく日用品の貨物の積込みもできれば
67	21	交通が不便であるために村から転出し、残された家族は高齢者が多く若者が定住しない。航空機や船の便を良くすることにより村に若者が帰ってくると思う。是非、空港を拡張し大型機の運航を望みます。
68	22	本島の病院へ通院しているが船では那覇での滞在が長く宿泊費・交通費の負担が大きい。船は欠航が多く通院するため飛行機を大型にしてほしい。安心して住めるため交通の便を願う。
69	23	粟国島に住んでいる方々の生活のみならず、粟国出身の方々が、いつでも帰郷できる・帰郷しやすい交通環境を行政と企業がよい関係をもって構築して欲しいです。空港整備にも長期間を要するので、現在就航している航空会社を公的に支援しつつ、航空路が将来にわたり継続・維持されるよう取り組んで欲しい。
③ 産業の振興に航空が必要だという意見 (22件)		
70	1	1日に数便あってほしい。9名乗りだと小さいので、できれば農産物も運べるようにしていただきたい
71	2	飛行機も大きくなれば、お客さんもよって来ます。雇用につながります
72	3	空港を早期整備することで新たな観光者の誘客につながると思う。島民の足だけでは収益性が見込めない
73	4	離島の活性化に繋がってほしい
74	5	粟国島に夏休みに友達の家に行きます。台風前とか船が出なくて飛行機で帰ったことが2~3度あって、飛行機はある方がいいと思います
75	6	現在、沖縄県の周辺離島に近い位置にありながら、最も不便さを感じています。船の欠航時の対応も現飛行機では制限があり、将来の粟国村の発展の為に飛行機の運航が不可欠であるので大きな飛行機を期待します
76	7	安全面や貨物の運搬、流通面等でも大きな飛行機があると安心して暮らせ、将来的にも島の発展につながっていくと思います
77	8	空港建設により、沖縄県内外の人達が気軽に足を運べ、島が大きく発展して変わると思う
78	9	離島の活性化には港&空港の整備が重要である
79	10	観光地化されてない粟国島にとって現在の飛行機で十分だと思いますが、この先、観光に力を入れていくのであれば必要だと思います。
80	11	島の発展を考えると飛行機の大型化は必要 早期に整備してほしい
81	12	早めに整備してほしいと思います。粟国村の発展のために
82	13	空港が拡張すると観光が増えてよくなると思うので早めに工事してほしい
83	14	船の欠航が多いので、飛行機の大型化をすればもっと活性化すると信じてます。
84	15	整備で島の発展と繁栄を望みます。

85	16	島を活性化するために空港拡張の起爆剤になる
86	17	水産物のフライト出荷が期待される。
87	18	輸送能力向上 入域観光客増加が見込まれる。
88	19	建設業に期待 活性化
89	20	水産物の出荷
90	21	所要時間の短縮 農林水産物の出荷
91	22	地域の発展は交通が不便では前進がない。将来に不安がありますので是非、空港の整備を早くして下さい。
④ その他（27件）		
92	1	早期実現を望む
93	2	早急の対応をして下さい
94	3	冬から春ごろまでは海がしけて、船に乗るのが大変なので、飛行機があるととても助かります
95	4	行事のたびに帰島する手段に苦慮しています。なので早めの対応をお願いします
96	5	離島間格差を無くす為にも空港整備は必要である
97	6	早期現実を望む
98	7	早期解決を
99	8	早目の実現をお願いします。
100	9	早期実現
101	10	急用が出来たら飛行機が必要です。
102	11	早期実現を希望
103	12	島にとって交通の便は早期現実を願う
104	13	早期現実を！
105	14	早期運航を願う
106	15	早目の運航を願う
107	16	個人的に船酔いがきつく船に乗れないので飛行機飛んでほしい
108	17	早期実現
109	18	村外に行き来きが早目に便利になれば
110	19	早めの取り組み
111	20	早めの取り組み
112	21	早期実現を望む
113	22	サービス業に期待ができる。利用者の利便性の向上
114	23	早目に
115	24	天気が悪くなった時に飛行機を利用できる。海上時化にはどうしても飛行機が利用できるのでは非空港が必要である。
116	25	早目に取り組んでほしい
117	26	早目に取り組む
118	27	早目に

3. 航空サービスに関する意見（167件）			
① 飛行機の大型化を望む意見（81件）			
・19席の飛行機を支持する意見（20件）			
119	1	1	1日3便(午前2便、午後1便)飛ばして欲しい。午前の1便目は 19名乗り 、午前の2便目は9名乗り、午後の便は 19名乗りの飛行機 を飛ばして欲しい。船はあてにならないし、不定期便の航空機は料金が若干割高だと思う
120	2	2	早期整備と事業費を考えると 19人乗りの飛行機がいい と思う。1日の往復数をもっと増やしてほしい。仕事が終わってから乗れるように遅い時間の便も飛ばしてほしい
121	3	3	1日1往復だと使い勝手が悪いので、 19人乗りを複数往復 させるのが1番望ましいです。朝・昼・夕(18時とか)に1往復ずつだとしても利用しやすいです。ヨロシクお願いします
122	4	4	A案で飛行機が飛んでほしいです。 19席の飛行機が今までの状況を見てきていいのではないかと 考えます
123	5	5	19名乗りの飛行機を朝・夕1便ずつ飛ばして欲しい。また、貨物や郵便を搭載して欲しい
124	6	6	現空港のまま活用する案を指示します（ 19人乗り ）。理由の一つとして、目的である粟国村の活性化（人口増、基本計画）と、滑走路延長による航空利用客数の増加の因果関係が明確ではないからです（39人乗り1往復のため）。粟国村に39席のプロペラ機が就航可能になることで、沖縄全体の観光産業は発展する可能性があります。将来的に自然豊かな粟国村の為になるとは思えません
125	7	7	粟国村は自然環境に恵まれておりますが、面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。現在の滑走路を有効利用し、 便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい 。39人乗りの機種では、1度に何人か乗れるが、採算がとれないのではないのでしょうか
126	8	8	現空港を活用して安定した運航を望みます。 19名乗り で1日2往復あれば良いと思う。先々を考えても滑走路の延長はあまり意味がない。税金のムダ使いになると思われる
127	9	9	39席は現在に比べて大型である。人口減少の一途を辿っている現在、果たして採算がとれるだろうか。船も以前に比べ大型化し、毎日運航している。 19席の機種でいいのではないか 。将来に禍根を残さないためにも、しかと検討すべきと考えるものである
128	10	10	A案で早く進めてほしい。 19人乗り で1日複数往復でもよい
129	11	11	19人乗りでチャーター運航 、もちろん公的支援も必要である
130	12	12	Do228の就航可能性が鍵 。もし可能なら「空港整備は必要ない」が結論となる。運航補助、機材購入補助など県がどこまで踏み込んで、エアラインに提示できるか、早急な結論が必要。空港整備はDo228の就航に見通りが立たない場合に検討されるべきもので、工事を伴う空港休止期間なども情報提示して欲しかった。A案、B案で言えばA案。小規模に海を埋め立てることを恐れてはならない。現空港>A案>B案
131	13	13	・現空港の有効活用の観点から、 19席のプロペラ機 を就航させることが可能であれば、その方がベストと考える。 ・P2のS60～H17まで村の人口はほぼ横ばいであるのに、利用客（飛行機H10、船舶H15）が約3万人から減少しているのは何が原因なのか。今後需要を伸ばすためにはどういう施策が必要なのかが見えない
132	14	14	・現空港を利用する案で 19人乗りのプロペラ機 を就航させる案がよい ・滑走路延長のA案、B案は33億円、34億円と事業費が高い ・航空会社にプロペラ機（19人乗り）購入支援策を検討すること ・滑走路を延長しても、利用者が少ないと航空会社は撤退する可能性もある
133	15	15	定住条件や就航率の向上を考えると、早期整備が必要である。しかし、地域住民にとって正に必要な空港とは何かを十分議論する必要があるのではないかと。居住人口を考慮すると、 19名乗りの飛行機でも住民の足の確保は可能 と思われるので、国、県、地元及び航空会社で更なる検討をしてほしい
134	16	16	費用を考えると 19名乗りの便数を増やし 、航空会社へ補助金（例、1億円を25年間）実施した方が33億円投資して拡張するより良いと思う。
135	17	17	現在フェリーが 1日1往復 してますがやはり天候などに左右される事が多いのでせめて 19人乗りのプロペラ機 がいいのでは、しかし、それに必要な滑走路整備の大きな課題になりますが自然環境に配慮した開発してただ飛行場、飛行機を大きくすれば良いのではなく、離島ならでの観光ピーアールに力を入れ魅力ある島作りも行政に任せてばかりではなく島民そろっての活動が大切だと思います。粟国村でまたゆっくりしたいなど観光のリピーターが増える事など考慮して欲しい。
136	18	18	大きな飛行機、1日1往復では無駄 小さい飛行機で 何便も(2～3便)の運航 が良いと思う
137	19	19	平日の利用者はそう多くないので、 19名乗りの機種 にして、午前行って用事をすませ、午後の便で帰れるようにした方がよい
138	20	20	小さな子供がいる家庭や、高齢者などが利用する場合、一日1便(大きな飛行機(39席))では、利便性に欠けると思います。私は一児の母親ですが、私一人ならともかく、子供の行動範囲(ぐずる・子供の分の荷物を持つ、時間を大幅に考えて行動しないといけない)を考えて、空港から長距離範囲に住んでいる私にとっては、現在の一日2便がかなり助かっています。高齢者も同様だと思います。 39席の大きな飛行機になると、自然豊かな粟国島を汚し、埋立までしないといけない事になる。 現状の空港で、低コストでやるのであれば、 19席の飛行機 で一日2便～3便が一番良いと私は思います。

		・39席の飛行機を支持する意見（6件）	
139	21	1	19人乗りの1日複数往復は利用者にとっては利便性は高く価値はあると思われます。回数が増える事は航空会社にとって経費が嵩む欠点があるかと思いますが。それによって航空質とのバランス(コスト高等)はどうですか。39人乗り1日1往復とすれば利用者もそれによって計画もたてられると思われる。燃料費の節減等との兼ね合いはどうでしょうか。
140	22	2	DHC8-100型機を2往復を久米島とのトライアングル飛行(那覇→粟国→久米島→那覇)にしたらどうでしょうか？(南・北大東のように)
141	23	3	飛行機の39名乗りができてほしい
142	24	4	RACの飛行機(39席)に対応した飛行機整備を早期に行う
143	25	5	これまでの旅客数は減少傾向にあり、単に機体を大型化しても事業者からすれば採算が合わなければ、再び撤退する可能性もある。大型の39名から50名乗りの機体はチャーター便として修学旅行や夏場の観光シーズンに就航するニーズはあるので、地場産業、インフラ、観光施設の整備など粟国村など関係機関との連携、調整が必要。将来的には地元企業(RAC)が就航するのが望ましく、これまでの確約をしっかりと守っていくよう働きかけていただきたい。
144	26	6	以下の理由により、B案が良いと感じました。 <ul style="list-style-type: none"> ・就航率を高めるためより大きな(39席)飛行機が必要(観光・生活の上で必要と思います) ・大切な自然の海に影響の無い方法(近くに漁港もあるので埋め立てによる汚染は避けて欲しい) ・大きな島ではないので農産業のために農用地も大切とは思いますが、海の環境を優先致しました
		・その他（55件）	
145	27	1	空路は絶対に必要です。早期に改修して大型を望みます。島に住んでみたら良く分かります
146	28	2	1日に数便あってほしい。9名乗りだと小さいので、できたら農産物も運べるようにしていただきたい
147	29	3	早く大きな飛行機を飛ばしてほしい
148	30	4	仕事で月に1度粟国島へ行きますが、飛行機が小さく予約が取れない時が多く、今よりも大型な飛行機の運航を希望します。船だと2時間かかり仕事ができなく、また船は欠航が多く不便です。
149	31	5	小さな飛行機の複数往復も良いけれど、大きな飛行機の1日2便が望ましい
150	32	6	飛行機も大きくなれば、お客さんもよって来ます。雇用につながります
151	33	7	現飛行機より少し大型な飛行機を運航していただきたい
152	34	8	現在、沖縄県の周辺離島に近い位置にありながら、最も不便さを感じてます。船の欠航時の対応も現飛行機では制限があり、将来の粟国村の発展の為に飛行機の運航が不可欠であるので大きな飛行機を期待します
153	35	9	粟国には船等を利用するが、欠航が多いので、飛行機を利用する。9名乗りは欠航や満席が多いので、少し大きめの飛行機を運航してほしい
154	36	10	安全面や貨物の運搬、流通面等でも大きな飛行機があると安心して暮らせ、将来的にも島の発展につながっていくと思います
155	37	11	大きい飛行機が早くにもできてほしい
156	38	12	欠航の少ない飛行機がいいので大型化してほしい
157	39	13	現在の飛行機は7名乗りで予約が取りにくいので、現在の飛行機より少し大型化してほしい
158	40	14	現在より大型化してほしい、早急に
159	41	15	予約があまり取れないので、現在より少し大型化してほしい
160	42	16	出張で粟国島に良く行きますが、9名乗りで予約が取りづらく不便。現在より少し大型化してほしいと思います
161	43	17	今のより少し大型にしてほしい
162	44	18	現在のより大型化して下さい
163	45	19	予約が取りづらいため、大型化してほしいと思います

164	46	20	今の飛行機より少し大型化してほしいです
165	47	21	観光客としては、せめて2往復／日はないと訪島希望者は不便に感じると思います。これは島民も同じだと思います。その反面で、 小型機による荷物10kg制限も、島民、観光客には厳しいと思います。 個人的な理想型はDHC8-100による那覇⇄粟国⇄久米島⇄那覇の三地点運航による2往復／日です。現状でドルニエが空港拡張が難問ですが、空港の維持管理費まで考えてデータを公表して、多くの人々から支持される計画を今後も検討をお願いします
166	48	22	粟国島へは月に1度伺いますが、船の欠航が多いので飛行機は欠航の少ない 大きな飛行機を運航してほしい。 また、現在の飛行機では荷物があまり運べない。9名ですぐ満席になるので予約が取りづらい
167	49	23	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が分断されないのでB案が良い ・空港から集落までの送迎サービスを行ってほしい。これがあれば運賃が船よりも高くても利用する ・大きな飛行機にして、飛行機の粟国での滞在時間を長くすれば良い
168	50	24	今より大型化してほしい。
169	51	25	大型化を望みます。
170	52	26	早急に大型化していただきたい。現在のより
171	53	27	大型化による物流の是正が必要
172	54	28	船の欠航が多々あるため 現在の飛行機だがすぐに満席になり困る事 があります。不便さを感じます。缶詰に状態になるのはもう懲り懲りです。早期整備実現を！
173	55	29	観光地化されてない粟国島にとって現在の飛行機で十分だと思いますが、この先、 観光に力を入れていくのであれば必要だと思います。
174	56	30	早急に 大型の飛行機の運航 を是非お願いします。
175	57	31	冬場とか台風時には船が長い間欠航する時があるので 是非大型化 していただき生活物資が運べる欠航が少ない飛行機の運航をお願いしたい。
176	58	32	大きな飛行機が良い ですが一日一往復だとちょっと不便さも感じます。 大きな飛行機 で一日に現状どおり二往復くらいしてもらえたら一番良いのですが
177	59	33	貨物がつめなくて不便と予約しても現在の飛行機には団体予約ができてない。9名しか乗れないため団体(9名以上)が利用できずキャンセルしなければならない。
178	60	34	島の発展を考えると 飛行機の大型化は必要 早期に整備してほしい
179	61	35	現在より大型化
180	62	36	船の欠航が多いので、 飛行機の大型化 をすればもっと活性化すると信じてます。
181	63	37	島の活性化・発展は農業、水産業、観光の振興を図る上からも 大型機 による物流の安定輸送や人の利便性がある初めて島に住める。安心して島で生活していくために 飛行機の大型化 を早期着工願います。
182	64	38	船は欠航が多く島での生活は不安です。子ども達が中学を卒業すると島から本島へ移動する予定です。生まれて育ったしまからですのは、とてもつらいです。船、飛行機、特に飛行機を大型化して交通の便を計ってください。そしたら島から出なくても安心して島で生活が出来ます。 大型化、空港拡張に頑張ってください。 お願いします。
183	65	39	現在の飛行機より大型化してほしい。 急ぎの場合等予約が全然とれず、船は欠航が多いので不便です。
184	66	40	船(フェリーあぐに)は欠航が多く島での生活が不安である。病院への通院や子ども達の教育面等交通が悪いと那覇への転出しなければならない。ぜひとも飛行場を拡張し 大型化 をしてください。お願いします。
185	67	41	交通が不便であるために村から転出し、残された家族は高齢者が多く若者が定住しない。航空機や船の便を良くすることにより村に若者が帰ってくると思う。是非、空港を拡張し 大型機の運航を望みます。
186	68	42	大型化に伴い大量輸がある。
187	69	43	航空機の大型化 により島の振興を図って下さい。20年後粟国島の人口は、500人に減ると予測されます。空港・港湾の整備に今こそ立ちあがって下さい。
188	70	44	現在の飛行機より大きくしてほしい。 物資が運べなく船の欠航のときは困る。
189	71	45	本島の病院へ通院しているが船では那覇での滞在が長く宿泊費・交通費の負担が大きい。船は欠航が多く通院するため 飛行機を大型 にしてほしい。安心して住めるため交通の便を願う。
190	72	46	早期整備して下さい。 今より大型化
191	73	47	9名乗りは小さい。

192	74	48	現在の飛行機より少し大きくしてほしい。生活物資が運べるくらいの飛行機 船の欠航が多いので
193	75	49	現在の飛行機より大きくして下さい。9人乗りで、すぐ満席になるので急な用事とか不便である。また、船がよく欠航するのでお店に物がなくなったりするので貨物を運べる飛行機にしてほしい。
194	76	50	今より大きな飛行機を運航してほしい
195	77	51	9人乗りでは小さすぎる。予約がとりづらい。
196	78	52	船があてにならないので今の飛行機より大きくしてほしい。早急に！
197	79	53	物資が運べるようにして下さい。現在では小さい。
198	80	54	島民の意見集約ができていいるなら、大きな飛行機の就航も良いと思う。ただ、観光客が増加したことによるインフラ等の整備及びゴミ問題等をよく検討する必要があると思う。観光客が増え、島が発展はしたが、水道、電気、ガスやゴミの増加などで自然破壊が進めば、観光(自然豊かな島)で発展していくことは難しいのではないかと。島の付加価値を付け、今後どのような観光振興ができるのか検討することも必要ではないかと。一度壊した自然を取り戻すことは、とても長い年月を費やすことになる。
199	81	55	理想は大きな飛行機で複数往復
② 1日2往復以上を望む意見 (34件)			
200	1		1日3便(午前2便、午後1便)飛ばして欲しい。午前の1便目は19人乗り、午前の2便目は9人乗り、午後の便は19人乗りの飛行機を飛ばして欲しい。船はあてにならないし、不定期便の航空機は料金が若干割高だと思う
201	2		1日に数便あってほしい。9人乗りだと小さいので、できれば農産物も運べるようにしていただきたい
202	3		小さな飛行機の複数往復も良いけれど、大きな飛行機の1日2便が望ましい
203	4		意見募集でわかりづらい部分があった。現空港を活用して1日複数往復を行ってほしい
204	5		早期整備と事業費を考えると19人乗りの飛行機がいいと思う。1日の往復数をもっと増やしてほしい。仕事が終わってから乗れるように遅い時間の便も飛ばしてほしい
205	6		空港拡張には反対です。大量輸送できるのは船なので、港のつくりを改善して欠航日を減らす方向がいいと思いますが、厳しいのでしょうか。小さい高速艇を新たに作るなどはどうでしょうか。9席でも満席になる日は限られた曜日だと思うので、そういう日だけ3往復してもらえば助かります。行きたい島になれば、船でもお客さんは来島されると思います。自然を生かした産業づくりが先だと思います
206	7		1日1往復だと使い勝手が悪いので、19人乗りを複数往復させるのが1番望ましいです。朝・昼・夕(18時とか)に1往復ずつだととても利用しやすいです。ヨロシクお願いします
207	8		19人乗りの飛行機を朝・夕1便ずつ飛ばして欲しい。また、貨物や郵便を搭載して欲しい
208	9		現行の状況が一番便利と考えています。1日2~3便(9席)
209	10		1日2~3往復が望ましい
210	11		大きな飛行機を導入しても乗客がいるか疑問です。小さな飛行機で1日2往復運航した方が良くと思います
211	12		現空港を活用して安定した運航を望みます。19人乗りで1日2往復あれば良いと思う。先々を考えても滑走路の延長はあまり意味がない。税金のムダ使いになると思われる
212	13		DHC8-100型機を2往復を久米島とのトライアングル飛行(那覇→粟国→久米島→那覇)にしたらどうでしょうか？(南・北大東のように)
213	14		A案で早く進めてほしい。19人乗りで1日複数往復でもよい
214	15		今後観光客誘致により、利用客増を見込むのであれば、1日に複数の時間帯出発で設定した方が、より多くの選択肢を供与できて、利用者にとっては便利である。節約できたお金を観光客や住民にとって魅力のある(ハード面、ソフト面)サービス構築費用にしてはどうか。例えば、村営住宅を造って(又はリフォーム)、移住者を呼びこむなど
215	16		実家が本島にあるので、1日2往復だと仕事後に帰れる時間帯の飛行機に乗れるので助かっています
216	17		1日に数便は運航してほしい
217	18		観光客としては、せめて2往復/日はないと訪島希望者は不便に感じると思います。これは島民も同じだと思います。その反面で、小型機による荷物10kg制限も、島民、観光客には厳しいと思います。個人的な理想型はDHC8-100による那覇⇄粟国⇄久米島⇄那覇の三地点運航による2往復/日です。現状でドルニエか空港拡張が難問ですが、空港の維持管理費まで考えてデータを公表して、多くの人々から支持される計画を今後も検討をお願いします

218	19	現在の需要予測の1万5千人程度で1日1往復はしょうがないが、 最低1日2往復 あることが需要の喚起を呼ぶものと思われる。最盛期には約3万人の乗降客数があった空港で、機材の小型化及び船舶の毎日運航の影響で減少していること、元々観光客の少ない島なので、観光客の誘致が最も大事と考える
219	20	人口減少が著しい中、大型機よりは 1日数回の往復 での利便性の充実が大切だと思います。また、空港拡張による自然破壊が心配。島の将来のため、子供達のため自然は残すべき
220	21	1日に複数往復してもらえると利便性があります
221	22	船の欠航もあるので、 1日複数往復してほしい 。海の自然環境を将来に残す為に陸上案がいいです。
222	23	大きな飛行機が良いですが一日一往復だとちょっと不便さも感じます。大きな飛行機で 一日に現状どおり二往復くらいしてもらえたら一番良い のですが
223	24	現在フェリーが 1日1往復してありますがやはり天候などに左右される事が多いのでせめて 19人乗りのプロペラ機がいいのでは、しかし、それに必要な滑走路整備の大きな課題になりますが自然環境に配慮した開発してただ飛行場、飛行機を大きくすれば良いのではなく、離島ならではの観光ピーアールに力を入れ魅力ある島作りも行政に任せてばかりではなく島民そろっての活動が大切だと思います。粟国村でまたゆっくりしたいなと観光のリピーターが増える事など考慮して欲しい。
224	25	以前より粟国島は観光を目標として又ダイビング等が出来るように整備されてきたと思います。この度空港の拡張工事計画がされて多数乗れる飛行機が配備されるという事ですが、 1日1往復が少ないような気もする と思います。他に少人数でも乗れる便もあって良いかとも思います。
225	26	大きな飛行機、1日入便で無駄 小さい飛行機で 何便も(2~3便)の運航が良い と思う
226	27	平日の利用者はそう多くないので、19名乗りの機種にして、 午前行って用事をすませ、午後の便で帰れるようにした方が良い
227	28	船舶もあり、現在第一航空が9人乗りの飛行機を出して赤字経営なのに滑走路を大きくして大型機を就航させるのは甚だ疑問。 大型機を1日1便より小型機を 複数回運航 させるのが利便性がありよい。
228	29	昨年5月を含め、粟国島には6回渡航(いずれも観光目的)しており、往復いずれかは必ず飛行機を利用しております。欠航の確率が高いことを考えれば、 1日に複数回 が望ましいと思います。
229	30	小さな子供がいる家庭や、高齢者などが利用する場合、一日1便(大きな飛行機(39席))では、利便性に欠けると思います。私は一児の母親ですが、私一人ならともかく、子供の行動範囲(ぐずる・子供の分の荷物を持つ、時間を大幅に考えて行動しないといけない)を考えて、空港から長距離範囲に住んでいる私にとっては、現在の 一日2便がかなり助かっています 。高齢者も同様だと思います。 39席の大きな飛行機になると、自然豊かな粟国島を汚し、埋立までしないといけない事になる。 現状の空港で、低コストでやるのであれば、19席の飛行機で 一日2便~3便が一番良い と私は思います。
230	31	理想は39席機なのだが、午前と午後で天候が変わることもあり 1日1便では欠航が決まると移動手段が完全に断たれてしまう 。また、私は観光客となる立場であるが、県外から那覇へ発着する時間が限定されてしまうことも大きい
231	32	粟国は観光で利用しています。島としては宿泊観光を願うのかもしれませんが、運航が不安定な小規模離島に2日間以上にまたがって滞在することは非常に不安です(初日が晴れていても二日目に天候が悪くなり島を離れられなくなるリスクが大きい)。そこで出来る限り日帰りでの観光をしたいですが、1日1往復ですと日帰り観光ができません。機種が大型・小型うんぬんよりも 最低限朝晩2往復は確保 できる交通対策を願いたいです(例として朝は船、夕方は飛行機などでも充分)。 800m滑走路の長さについて、1機種のみしか離着陸できないような説明がありますが、世の中には短い滑走路でも離着陸できる飛行機は多数あるかと思えます。空港拡張と、飛行機導入+パイロット育成のどちらのほうがかからず早期に実現できるか、より詳細な調査をお願いいたします。
232	33	理想は大きな飛行機で 複数往復

233	34	<p>①現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用者にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>②A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものではないことから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p3において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかわからないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>
③ 定期航空路を望む意見(10件)		
234	1	船は欠航が多い為、あてになりません。せめて 飛行機の定期便を運航 していただき、物資、郵便等を運んでほしい
235	2	団体客の確保しやすさ、悪天候に強い機体など、大きな飛行機が有利な面も大切であるが、 定期運航 が島の生活と振興にはまず必要であろうかと感じます
236	3	現空港を活用して 安定した運航を望みます 。19名乗りで1日2往復あれば良いと思う。先々を考えても滑走路の延長はあまり意味がない。税金のムダ使いになると思われる
237	4	早く定期便が飛ぶようお願いします
238	5	病気で那覇に行きたい時、飛行機がないと困る。 早く定期便をお願いします
239	6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期運航できる会社に小さな飛行機を貸した(あげる)方がよいのでは？ ・空港を拡張整備するより低コスト
240	7	将来的にも就航可能な航空機を有する航空会社の 定期就航する意志を確保することが絶対条件 である。航空会社の採算性の確保、つまり旅客需要を確保するためには、交流人口の拡大が必須であり、粟国村において観光資源の開発・再整備により魅力的な島づくりを推進することが重要と考えます。併せて、運賃の低減化に向けて、国、県、村の補助制度の充実が図れればと願っています
241	8	安定した定期便を希望
242	9	安定化の期待 空港を整備する事により乗客の適性が向上が望める。
243	10	チャーター便での運航では、離島の生活に支障を生じさせていると考えられ、 定期便を就航できるよう航空会社の意向も踏まえ、早期に対応 すべき。 問10については、「小さな飛行機」、「大きな飛行機」だけの選択項目ではなく、「定期就航が図られるための整備であれば、大きさ、便数にはこだわらない」という項目を設けた方がよいと思われる。
④ その他(42件)		
244	1	1日3便(午前2便、午後1便)飛ばして欲しい。午前の1便目は19名乗り、午前の2便目は9名乗り、午後の便は19名乗りの飛行機を飛ばして欲しい。船はあてにならないし、不定期便の航空機は料金が若干割高だと思う
245	2	早期整備と事業費を考えると19人乗りの飛行機がいいと思う。1日の往復数をもっと増やしてほしい。仕事が終わってから乗れるように遅い時間の便も飛ばしてほしい
246	3	Do228の就航可能性が鍵。もし可能なら「空港整備は必要ない」が結論となる。運航補助、機材購入補助など県がどこまで踏み込んで、エアラインに提示できるか、早急な結論が必要。空港整備はDo228の就航に見通りが立たない場合に検討されるべきもので、工事を伴う空港休止期間なども情報提示して欲しかった。A案、B案で言えばA案。小規模に海を埋め立てることを恐れてはならない。現空港>A案>B案

247	4	DHC8-100型機を2往復を久米島とのトライアングル飛行(那覇→粟国→久米島→那覇)にしたらどうでしょうか？(南・北大東のように)
248	5	これまでの旅客数は減少傾向にあり、単に機体を大型化しても事業者からすれば採算が合わなければ、再び撤退する可能性もある。大型の39乃至50名乗りの機体はチャーター便として修学旅行や夏場の観光シーズンに就航するニーズはあるので、地場産業、インフラ、観光施設の整備など粟国村など関係機関との連携、調整が必要。将来的には地元企業(RAC)が就航するのが望ましく、これまでの確約をしっかりと守っていくよう働きかけていただきたい。
249	6	大型化に伴い大量輸がある。
250	7	現在の飛行機より大きくしてほしい。物資が運べなく船の欠航のときは困る。
251	8	物資が運べるようにして下さい。現在では小さい。
252	9	現行の状況が一番便利と考えています。1日2～3便(9席)
253	10	以前より粟国島は観光を目標として又ダイビング等が出来るように整備されてきたと思います。この度空港の拡張工事計画がされて多数乗れる飛行機が配備されるという事ですが、1日1往復が少ないような気もすると思います。他に少人数でも乗れる便もあっても良いかとも思います。
254	11	船は欠航が多い為、あてになりません。せめて飛行機の定期便を運航していただき、物資、郵便等を運んでほしい
255	12	・定期運航できる会社に小さな飛行機を貸した(あげる)方がよいのでは？ ・空港を拡張整備するより低コスト
256	13	将来的にも就航可能な航空機を有する航空会社の定期就航する意志を確保することが絶対条件である。航空会社の採算性の確保、つまり旅客需要を確保するためには、交流人口の拡大が必須であり、粟国村において観光資源の開発・再整備により魅力的な島づくりを推進することが重要と考えます。併せて、運賃の低減化に向けて、国、県、村の補助制度の充実が図ればと願っています
257	14	・整備事業の目的が不明である⇒人口減少ストップ＝空港整備？ ・1日片道1便で良いのでは。那覇→伊江→粟国→外地と遊覧が楽しめる空路で、宿泊が期待できる
258	15	早期整備を実現させ、安定した定期航空会社による運航してほしい。また、定期航空会社なら、宅配便や郵便物も早く届く。船で郵便等が届く為、飛行機なら確実性がある
259	16	郵便が船でしか来ないので早急に郵便を運べる様にしていただきたい。船は欠航が多くあてにならない
260	17	2～3ヶ月に1度島に帰りますが、船は欠航が多く困っていますので、早急に飛行場を整備してもらいたい。また航空運賃を安くしていただきたい
261	18	月1度出張で粟国島に行きますが、船便は安いのですが、欠航が多く期待できない。船便は欠航が多いので、せめて飛行機は欠航が少ない方がいいと思います
262	19	環境問題の点で現状の空港の活用がベスト。39席になると空席が多くなり、採算がとれなくなる可能性大。荷物の運搬が重要
263	20	低料金片道3,000円、往復5,000円位であれば、那覇経由で訪れる観光客も多くなる。島で丸1日の観光コースがあれば満足出来ると思うので歩いて島内をじっくり見てみたいと思う
264	21	船の欠航が多いので、欠航が少ない飛行機を運航してほしい
265	22	久米島より沖繩本島に近い距離にありながら交通の便が不便である現状は、これから島の発展の為にも不利であると思います。現在の第一航空では、荷物だけでなく郵便物等が運べず通信網も停滞してしまうので、定期航空路の運航を期待しています
266	23	特産品の開発、工場を作ったりする場所があれば、人口減少に役立つのではと思っています。 現状の安い運賃でキャンセル料なしで運航していただくのがBestだと思います。観光名所を増やして定期運航バスで観光ポイントに停車するようになってもらえると良いかと思っています。 大きな飛行機になると、コスト、収益のバランスで赤字が出るのではと思っています。粟国の将来の為に頑張って下さい。
267	24	港の作りが悪く、船の欠航が多くて、急な用事で那覇に出たい時は不便なので、欠航が少ない飛行機を運航してほしい
268	25	船の欠航が多いので、欠航が少ない飛行機の運航をしてほしい
269	26	飛行機で新聞、郵便物、食糧が運べるようになってほしい。地層、海洋学の研究者が訪れる島になってほしい(自然環境を大事に次世代に残してもらいたい) 富裕層の人間が癒しを求めて来れる島、都会の子供達がいろんな体験をして学び、癒される島になってほしい
270	27	欠航が少ない様にしてほしい
271	28	船の欠航が多いので、物資が運べる飛行機の運航をしてほしい

272	29	欠航の少ない飛行機の運航
273	30	航空運賃を少し安くしたら、もっと利用客が多くなると思う
274	31	利用客の多い日は臨時便を出してほしい
275	32	郵便物を航空機へ搭載できず大変支障がある。早期拡張し、通信・物流の是正をお願いします。「離島苦は交通にあります」早期実現をお願いします。
276	33	早目に整備し、失航の少ない、客が利用し易いように
277	34	粟国島は船の欠航が多く、最悪のときは1週間以上欠航する場合がありますので物質が運べる飛行機を運航してほしい。是非お願いします。
278	35	早期に実現し、航空賃の定額を望む
279	36	早期に実現し、航空賃の定額を望む整備し運休の少ないように
280	37	飛行機が飛ばないとお客の入りも少なくきびしい状況ながら飛行機は飛ばしてほしい。
281	38	人間にだけではなく日用品の貨物の積込みも出きれば
282	39	飛行機の大きさについて大小どちらでもかまわないが住民の数、利用客には小さい方が良いと思う。
283	40	船の欠航が多いので、物が運べる飛行機の運航をしてほしい。
284	41	船の欠航が多い為、飛行機は欠航が少ない様にして下さい。
285	42	<p>定期性・短時間で行けることも重要ですが、移動にかかる費用(運賃)が離島路線はどうしても割高になってしまい、利用者離れになってしまっているのではと思う。</p> <p>種々の経費や安全運航上削ってはいけないコストもあると思うが、それ以外で運賃を少しでも安くできる方策(航空会社のコスト見直しや、現時点でやっている離島路線の補助金を国が主体となって補助をし、さらに県でも多少の補助をするなど)をとれば離島路線も活性化するのは</p>

4. 将来の対応方策に対する意見（130件）

① 滑走路整備案を支持する意見（67件）			
・A案を支持する意見（6件）			
286	1	1	A案をお願いします
287	2	2	A案で飛行機が飛んでほしいです。19席の飛行機が今までの状況を見てきていいのではないかと考えます
288	3	3	ぜひA案で進めてほしい。早期実現をお願いします
289	4	4	粟国村は自然環境に恵まれておりますが、面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。現在の滑走路を有効利用し、便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい。39人乗りの機種では、1度に何人が乗れるが、
290	5	5	A案で早く進めてほしい。19人乗りで1日複数往復でもよい
291	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路が東西に分断されるとあるが、分断しないように海の埋立部分に道路を回すべきだと考える。 ・現空港を活用し、一部埋め立てはやむを得ないと思う。 ・利用客増の見込みが甘い。飛行機の大型化や公的助成をあてにするのではなく、観光スポットの開発や民宿等の拡充など村の取り組みを求めて、具体的方策を示す必要があるのではないかと
・B案を支持する意見（10件）			
292	7	1	B案に賛成
293	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が分断されないのがB案が良い ・空港から集落までの送迎サービスを行ってほしい。これがあれば運賃が船よりも高くても利用する ・大きな飛行機にして、飛行機の粟国での滞在時間を長くすれば良い
294	9	3	船の欠航もあるので、1日複数往復してほしい。海の自然環境を将来に残す為に陸上案がいいです。
295	10	4	B案をお願いします。早期整備も必要ですが、A案にすると海域の自然環境が破壊されるからです。2～300年先を見込んだ自然環境を残してください。
296	11	5	B案海上汚染ががないような工事をする事
297	12	6	埋め立てない案がベターだと思います。
298	13	7	B案陸上案が良いと思います。
299	14	8	滑走路整備をするなら埋め立てよりも陸上案に賛成。これを機にほとんどやり変えになれば維持管理の面からもよいと思う
300	15	9	埋立しないほうが良いと思います。
301	16	10	<p>以下の理由により、B案が良いと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就航率を高めるためより大きな(39席)飛行機が必要(観光・生活の上で必要と思います) ・大切な自然の海に影響の無い方法(近くに漁港もあるので埋め立てによる汚染は避けて欲しい) ・大きな島ではないので農産業のために農用地も大切とは思いますが、海の環境を優先致しました
・その他（51件） うち早期に整備を実施して欲しいとする意見（47件）			
302	17	1	空路は絶対に必要です。早期に改修して大型を望みます。島に住んでみたら良く分かります
303	18	2	何十年も飛行場の拡張の件は聞いているが、全然進んでいない。いつになったらできるのでしょうか？ 早急に整備してほしい
304	19	3	早期整備を実現させ、安定した定期航空会社による運航してほしい。また、定期航空会社なら、宅配便や郵便物も早く届く。船で郵便等が届く為、飛行機なら確実性がある
305	20	4	何年も前から取り組んでいる様ですが、進んでいないように見えます。早急に整備してほしい
306	21	5	粟国空港の早期実現をお願いします
307	22	6	私達離島に住む者として早期に飛行場整備をしてほしいと思います
308	23	7	2～3ヶ月に1度島に帰りますが、船は欠航が多く困っていますので、早急に飛行場を整備してもらいたい。また航空運賃を安くしていただきたい
309	24	8	空港を早期整備することで新たな観光客の誘客につながると思う。島民の足だけでは収益性が見込めない
310	25	9	粟国空港は早期整備・供用が必要だと思います
311	26	10	粟国空港を1日も早く整備お願い致します
312	27	11	いつになれば整備してくれますか？
313	28	12	早期整備を望む
314	29	13	関係各位協力のもと、早期整備してもらいたい
315	30	14	1日も早く、空港拡張整備を実現して、交通の便を良くしてもらいたい

316	31	15	定住条件や就航率の向上を考えると、 早期整備が必要である 。しかし、地域住民にとって正に必要な空港とは何かを十分議論する必要があるのではないか。居住人口を考慮すると、19名乗りの飛行機でも住民の足の確保は可能と思われるので、 国、県、地元及び航空会社で更なる検討をしてほしい
317	32	16	RACの飛行機(39席)に対応した 飛行機整備を早期に行う
318	33	17	人口が減っていき、将来の過疎化で島に住めなくなる。交通の安定こそ島で生活できる 早期に空港を広めて下さい 。飛行機・船は島に住む者の命綱(国道)と一緒にです。是非離島苦の振興に目を向けて真剣に取り組んで下さい
319	34	18	郵便物を航空機へ搭載できず大変支障がある。 早期拡張し、通信・物流の是正をお願いします 。「離島苦は交通にあります」 早期実現をお願いします 。
320	35	19	早目に整備し、失航の少ない、客が利用し易いように
321	36	20	早期拡張をお願いします 。
322	37	21	早期整備がもっとも大事な事だと思います。実現を早めをお願いします 。
323	38	22	早期整備して観光の活性化を図ってほしい 。
324	39	23	早目の拡張をお願いします 。
325	40	24	冬は船の欠航が多いので 早めに作ってほしい
326	41	25	早めに整備してほしい
327	42	26	離島のため急を要することもあり早期に整備してほしい
328	43	27	子ども達が那覇市在留のため急を要するときに困るので是非、 空港の整備を早期にしてほしい
329	44	28	島の発展を考えると飛行機の大型化は必要 早期に整備してほしい
330	45	29	離島においては、船か飛行機での利用なのが海がしけると空の便を利用しないと用事がある時は大変困ります。 是非、早く滑走路の拡大をお願いします 。
331	46	30	私達老人にとって、那覇へ出る時は、早く着く飛行機が一番なので、 是非、早く滑走路を長くして飛行機が飛ぶ事ができるようにしてください 。
332	47	31	早期整備
333	48	32	早めに整備してほしい と思います。粟国村の発展のために
334	49	33	空港が拡張すると観光が増えてよくなると思うので 早めに工事してほしい
335	50	34	早期完成を希望します 。
336	51	35	整備事業を早めに進めてほしい
337	52	36	船は欠航が多く島での生活は不安です。子ども達が中学を卒業すると島から本当へ移動する予定です。生まれて育ったしまからですのは、とてもつらいです。船、飛行機、特に飛行機を大型化して交通の便を計ってください。そしたら島から出なくても安心して島で生活が出来ます。大型化、空港拡張に頑張ってください。お願いします。
338	53	37	交通が不便で島に住めなくなる。特に高齢者は病院への通院は飛行機でないと2時間の船旅は厳しいです。 早期に空港拡張してください 。
339	54	38	船(フェリーあぐに)は欠航が多く島での生活が不安である。病院への通院や子ども達の教育面等交通が悪いと那覇への転出しなければならない。ぜひとも飛行場を拡張し大型化をしてください。お願いします。
340	55	39	観光客の入域も少しずつ減ってます。粟国村をもっとPRしてください。 早期整備をお願いします 。それぞれの民宿経営者を見ずて下さい。
341	56	40	早目の整備を実現してほしい
342	57	41	早期拡張してほしい
343	58	42	早期整備
344	59	43	急な用事等がある時、日帰り出来るので 飛行場を早めに作ってほしい
345	60	44	関西出身が粟国に移住してます。急な用事が多いので、 早く飛行場を作ってほしい 。
346	61	45	那覇との距離が長いので又船酔いするので、たいへんきびしい時代ではありますが飛行場建設は島の全体の人が希望していると思うので 早急に実現してほしい
347	62	46	高校生がいるので那覇へ行く機会が多いのでぜひ 早く作ってほしい
348	63	47	交通が不便であるために村から転出し、残された家族は高齢者が多く若者が定住しない。航空機や船の便を良くすることにより村に若者が帰ってくると思う。是非、空港を拡張し大型機の運航を望みます。
349	64	48	後世代、子孫にも残るよう空港を作って
350	65	49	早期整備して下さい 。今より大型化
351	66	50	地域の発展は交通が不便では前進がない。将来に不安がありますので是非、 空港の整備を早くして下さい 。
352	67	51	本島との交通手段が2つ(飛行機、船)しかない内の、1つが失われると住民生活に支障がでると思われるので 早期整備を期待しています 。

		② 現空港活用案を支持する意見 (33件) うち整備に反対する意見(18件) 斜体番号
353	1	意見募集でわかりづらい部分があった。 現空港を活用 して1日複数往復を行ってほしい
354	2	空港拡張には反対です 。大量輸送できるのは船なので、港のつくりを改善して欠航日を減らす方向がいいと思いますが、厳しいのでしょうか。小さい高速艇を新たに作るなどはどうでしょうか。9席でも満席になる日は限られた曜日だと思うので、そういう日だけ3往復してもらえば助かります。行きたい島になれば、船でもお客さんは来島されると思います。自然を生かした産業づくりが先だと思います
355	3	環境問題の点で 現状の空港の活用がベスト 。39席になると空席が多くなり、採算がとれなくなる可能性大。荷物の運搬が重要
356	4	地主の同意が困難と思うので、 現滑走路で運航 してもらいたい
357	5	A、B案では用地交渉が難航であるため、 現空港を活用する案が望ましい 。空港を拡張し航空機を大型化しても充分乗客の確保が満たされない
358	6	現行の状況が一番便利 と考えています。1日2〜3便(9席)
359	7	現空港のまま活用する案を指示 します(19人乗り)。理由の一つとして、目的である粟国村の活性化(人口増、基本計画)と、滑走路延長による航空利用客数の増加の因果関係が明確ではないからです(39人乗り1往復のため)。粟国村に39席のプロペラ機が就航可能になることで、沖縄全体の観光産業は発展する可能性があります。将来的に自然豊かな粟国村の為になるとは思えません
360	8	村の人口が増えることはあまり考えられない。 現状を維持し 、もう少し様子を見てはどうか
361	9	現空港を活用して安定した運航を望みます 。19人乗りで1日2往復あれば良いと思う。先々を考えても滑走路の延長はあまり意味がない。税金のムダ使いになると思われる
362	10	Do228の就航可能性が鍵。もし可能なら「空港整備は必要ない」が結論となる。運航補助、機材購入補助など県がどこまで踏み込んで、エアラインに提示できるか、早急な結論が必要。空港整備はDo228の就航に見通りが立たない場合に検討されるべきもので、工事を伴う空港休止期間なども情報提示して欲しかった。A案、B案で言えばA案。小規模に海を埋め立てることを恐れてはならない。 現空港>A案>B案
363	11	今のままで良いです
364	12	粟国村のことをこよなく愛して下さい。文化的な生活の保障をとるお考えにいたく感動を覚えます。しかし、現在の飛行機でも私1人で乗ったこともありました。人口が少なくなってきました。採算ベースに本当にあうかどうか気がかりです。 現状のままでいいと存じます 。33億巨費を投入することは ムダ だと思います。産業を興すことが先です
365	13	現在でも厳しいのに大型飛行機で採算が取れるかどうか疑わしい。 現行の運用で十分な活用ができると思う
366	14	・定期運航できる会社に小さな飛行機を貸した(あげる)方がよいのでは？ ・ 空港を拡張整備するより低コスト
367	15	・ 現空港を利用する案で19人乗りのプロペラ機を就航させる案がよい ・滑走路延長のA案、B案は33億円、34億円と事業費が高い ・航空会社にプロペラ機(19人乗り)購入支援策を検討すること ・滑走路を延長しても、利用者が少ないと航空会社は撤退する可能性もある
368	16	人口減少が著しい中、大型機よりは1日数回の往復での利便性の充実が大切だと思います。また、 空港拡張による自然破壊が心配 。島の将来のため、子供達のため自然は残すべき
369	17	環境に影響ないようにしてほしい。今の9人乗りが通常運航している間は、 あまり拡張に村民が必要を感じてないのではないか
370	18	費用を考えると 19人乗りの便数を増やし 、航空会社へ補助金(例、1億円を25年間)実施した方が33億円投資して 拡張するより良い と思う。
371	19	現滑走路の使用
372	20	現空港の活用を希望する
373	21	A案、B案の場合いはい、用地交渉は困難に思う。運航が時期10〜20年はかかるでしょう。 現滑走路を活用した方法で進めた方がいい でしょう。
374	22	長い滑走路はいらない。 現状のままでさんせい 。
375	23	現空港の活用
376	24	現空港を活用して 早期的に安定した定期便を運航してほしいです。
377	25	現滑走路の活用 B案については無理
378	26	現空港の活用
379	27	現空港の活用に賛成します 。
380	28	粟国は観光で利用しています。島としては宿泊観光を願うのですが、運航が不安定な小規模離島に2日間以上にまたがって滞在することは非常に不安です(初日が晴れていても二日目に天候が悪くなり島を離れられなくなるリスクが大きい)。そこで出来る限り日帰りでの観光をしたいですが、1日1往復ですと日帰り観光ができません。機種が大型・小型うんぬんよりも最低限朝晩2往復は確保できる交通対策を願っています(例として朝は船、夕方は飛行機などでも充分)。 800m滑走路の長さについて、1機種のみしか離着陸できないような説明がありますが、世の中には短い滑走路でも離着陸できる飛行機は多数あるかと思えます 。空港拡張と、飛行機導入十パイロット育成のどちらのほうか費用がかからず早期に実現できるか、より詳細な調査をお願いいたします。

381	29	<p>滑走路整備には反対です。</p> <p>今の状況では、空港を整備しても路線を継続できる保証はないと思います。公共事業で一時的に地元にお金は入るかもしれませんが、その後につながらないと思います。</p> <p>同じ費用をかけるのであれば、チャーター支援に振り分ける方が路線の存続、ひいては粟国村の発展につながると思います。その制度がないのであれば、制度を変更するよう国に求めるべきだと思います。</p>
382	30	<p>空港の拡張には反対です。</p> <p>埋め立て案、陸上活用案どちらをとっても県内で唯一古き良き沖縄を感じることができる粟国島の景観、環境、生態系を崩すことになると思います。</p> <p>なぜ、現行の飛行機(空港)を継続させる方法を優先的に考えないのでしょうか？</p> <p>日本有数の小型飛行機で、逆手に取れば、日本で粟国一那覇間しか搭乗できないことをどんどんPRしていけば、粟国の観光に付加価値をつけることができるのではないのでしょうか？</p> <p>空港を拡張して得られる経済効果や島への利益というのは、現在の飛行機の利用者、利用用途をみても、雄大な粟国の自然を崩すまでの大きさではないと思います。</p> <p>拡張した後、いくら後悔しても、莫大な費用を費やしても、もとの景観、環境、生態系は戻すことはできません。</p> <p>粟国空港協議会の皆様、目の前の利益より、後生に残す「粟国島の姿」を考慮していただけないでしょうか？</p>
383	31	<p>国もお金がないので、今の空港を有効活用する方法を考えることがベストと思う。</p>
384	32	<p>滑走路の延長工事に伴う自然環境が心配なので、現空港を活用する事で解決出来ればと思います。</p> <p>また大きな飛行機になった場合の新空港周辺への騒音問題について何も無いので気掛かりです。</p>
385	33	<p>① 現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用者にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>② A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものであることから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③ 沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p3において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④ 沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤ 那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかわからないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥ 粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦ 可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>
③ 自然環境への影響を懸念する意見 (19件)		
386	1	<p>自然環境(特に海岸)を壊す事は望ましくない</p>
387	2	<p>「理解できた」と云うのは賛成という意味ではありません。わざわざ埋め立て等、費用を使って進めていく意味があるのか？</p> <p>海の生態系等まで変えてまで空港を拡張する意味はあるのか？全く理解できません</p>
388	3	<p>今後は自然が残っている離島の素朴さを求める観光が増えると思う。(体験型観光:漁業、農業、自然)</p> <p>自然を破壊しない事業の整備を望む。(ホテル等の建設には)自然を破壊しない様、充分留意する必要がある</p>
389	4	<p>なぜ海を埋める必要があるのか？</p>
390	5	<p>自然環境をできるだけこしてほしい</p>
391	6	<p>現在フェリーが1日1往復しますがやはり天候などに左右される事が多いのでせめて19人乗りのプロペラ機がいいのでは、しかし、それに必要な滑走路整備の大きな課題になりますが自然環境に配慮した開発そしてただ飛行場、飛行機を大きくすれば良いのではなく、離島ならでの観光ピーアールに力を入れ魅力ある島作りも行政に任せればかりではなく島民そろっての活動が大切だと思います。粟国村でまたゆっくりしたいなど観光のリピーターが増える事など考慮して欲しい。</p>
392	7	<p>小さな子供がいる家庭や、高齢者などが利用する場合、一日1便(大きな飛行機(39席))では、利便性に欠けると思います。私は一児の母親ですが、私一人ならともかく、子供の行動範囲(ぐずる・子供の分の荷物を持つ、時間を大幅に考えて行動しないといけない)を考えて、空港から長距離範囲に住んでいる私にとっては、現在の一日2便がかなり助かっています。高齢者も同様だと思います。</p> <p>39席の大きな飛行機になると、自然豊かな粟国島を汚し、埋立までしないといけない事になる。</p> <p>現状の空港で、低コストでやるのであれば、19席の飛行機で一日2便～3便が一番良いと私は思います。</p>

393	8	<p>島民の意見集約ができていながら、大きな飛行機の就航も良いと思える。ただ、観光客が増加したことによるインフラ等の整備及びゴミ問題等をよく検討する必要があると思う。観光客が増え、島が発展したが、水道、電気、ガスやゴミの増加などで自然破壊が進めば、観光(自然豊かな島)で発展していくことは難しいのではないかと。島の付加価値を付け、今後どのような観光振興ができるのか検討することも必要ではないかと。一度壊した自然を取り戻すことは、とても長い年月を費やすことになる。</p>
394	9	<p>滑走路拡張のための埋め立ては、自然環境を破壊する恐れがある。陸上側に延長すべき。このことについて、地域住民は、利己主義をやめ、多少の農地の損失は受忍すべき。そうでないと、粟国空港は整備が困難になるのではないかと</p>
395	10	<p>B案をお願いします。早期整備も必要ですが、A案にすると海域の自然環境が破壊されるからです。2～300年先を見込んだ自然環境を残してください。</p>
396	11	<p>B案海上汚染ががらないような工事をする事</p>
397	12	<p>以下の理由により、B案が良いと感じました。 ・就航率を高めるためより大きな(39席)飛行機が必要(観光・生活の上で必要と思います) ・大切な自然の海に影響の無い方法(近くに漁港もあるので埋め立てによる汚染は避けて欲しい) ・大きな島ではないので農産業のために農用地も大切とは思いますが、海を環境を優先致しました</p>
398	13	<p>環境問題の点で現状の空港の活用がベスト。39席になると空席が多くなり、採算がとれなくなる可能性大。荷物の運搬が重要</p>
399	14	<p>現空港のまま活用する案を指示します(19人乗り)。理由の一つとして、目的である粟国村の活性化(人口増、基本計画)と、滑走路延長による航空利用客数の増加の因果関係が明確ではないからです(39人乗り1往復のため)。粟国村に39席のプロペラ機が就航可能になることで、沖縄全体の観光産業は発展する可能性がありますが、将来的に自然豊かな粟国村の為になるとは思えません</p>
400	15	<p>人口減少が著しい中、大型機よりは1日数回の往復での利便性の充実が大切だと思います。また、空港拡張による自然破壊が心配。島の将来のため、子供達のため自然は残すべき</p>
401	16	<p>環境に影響ないようにしてほしい。今の9人乗りが通常運航している間は、あまり拡張に村民が必要を感じていないのではないかと</p>
402	17	<p>空港の拡張には反対です。 埋め立て案、陸上活用案どちらをとっても県内で唯一古き良き沖縄を感じることができる粟国島の景観、環境、生態系を崩すことになると思います。 なぜ、現行の飛行機(空港)を継続させる方法を優先的に考えないのでしょうか？ 日本有数の小型飛行機で、逆手に取れば、日本で粟国一那覇間しか搭乗できないことをどんどんPRしていけば、粟国の観光に付加価値をつけることができるのではないのでしょうか？ 空港を拡張して得られる経済効果や島への利益というのは、現在の飛行機の利用者、利用用途をみても、雄大な粟国の自然を崩すまでの大きさではないと思います。 拡張した後、いくら後悔しても、莫大な費用を費やしても、もとの景観、環境、生態系は戻すことはできません。 粟国空港協議会の皆様、目の前の利益より、後生に残す「粟国島の姿」を考慮していただけませんか？</p>
403	18	<p>滑走路の延長工事に伴う自然環境が心配なので、現空港を活用する事で解決出来ればと思います。 また大きな飛行機になった場合の新空港周辺への騒音問題について何も無いので気掛かりです。</p>
404	19	<p>① 現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用客にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>② A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものではないことから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③ 沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p3において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④ 沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤ 那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかかわらないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥ 粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦ 可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>

④ その他（11件）		
405	1	これまで沖縄県は新石垣空港の予定地として宮良案では、土地改良区の真中に空港計画しており、今回僅かでも土地改良区にかけないのは合点いかない。A案は海側ではなく土地改良区側へ延ばし、農地が不足するのであれば牧場に代替地を求めるべきだと思う。その分が事業コストの縮減になると考える
406	2	県の当初計画案は全て海上への拡張であった。村の計画立案は東側であった。なぜ西側拡張と変わったのか。AB両案は民家上空飛行コースがだめ。B案なら新たな場所を探せ。大型機導入した場合、再度採算割れが生じた時、責任の所在、未決の収用委決定の処理は地権者の意見を充分に聞くこと。村民の合意形成を尊重すること
407	3	民家上空飛行コースとなる危険性大。東側拡張案望む案でも民家上空を通る可能性はあるのか。案にこだわるなら、民家に被害が及ばない新設、土地買上げを最小限にするため、全て海上に伸ばし、村民を分回する行為は慎むこと
408	4	滑走路配置案のB案について、不可能と思います。
409	5	<ul style="list-style-type: none"> ・間10の意味がよく分からない。（運航方法としてどっちが良いかということ？ そうであれば小さな飛行機が良いと思う。） ・最も安いと思われる現空港の滑走路を南側へ延長するだけの案が無いのか疑問。 ・離島空港整備は需要と関係無く、地域格差是正の観点から事業を進めるべき。
410	6	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路を分断せず、空港を迂回する道路も検討されているのでしょうか。 ・滑走路が延長されたら、39人乗りの運航可能性が高いのでしょうか。
411	7	住みにくい理由の1番ではなく、2番目に多い「本島との交通が不便」についての課題検討に入っていき箇所に若干の違和感を感じました。 また、5においての整備案でA案は評価ランクⅡの農業用地や土地改良区が評価ランクⅠの沿岸より優先されているように見受けられるが理由が明確でないと感じました。
412	8	<p>今回の実施計画書における滑走路延長について、パイロットの視点でご意見させていただきます。なおこの意見は琉球エアコミューターのパイロットから意見聴取したものをベースとしております。</p> <p>滑走路A案、B案共に運航上大きな問題となることはなさそうです。それは周辺の地形、また建造物の影響が少ないためです。</p> <p>一方で、現空港において北西風が卓越する場合、ターミナルビルの配置と形状によって気流が乱れることから着陸前に大きな修正を余儀なくされることがあります。そのため、いずれの案が採用となったとしても、今後ターミナルビルを新規に建設する場合、気流の擾乱を考慮したビルの配置、また形状を是非お願いしたいと思います。そのためにコンピュータグラフィックで風の擾乱を模擬出来るシステム等を利用すると有効かと思われます。</p> <p>今回の実施計画書にはその辺りについて全く触れられていなかったこと、今回の機会を逃すと適切な時期にこのようなお話をする機会が得られないと考えまして、あえてこのタイミングでご連絡差し上げましたので、ご了承願います。</p>
413	9	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路が東西に分断されるとあるが、分断しないように海の埋立部分に道路を回すべきだと思う。 ・現空港を活用し、一部埋め立てはやむを得ないと思う。 ・利用客増の見込みが甘い。飛行機の大型化や公的助成をあてにするのではなく、観光スポットの開発や民宿等の拡充など村の取り組みを求めて、具体的方策を示す必要があるのではないか
414	10	後世代、子孫にも残るよう空港を作って
415	11	滑走路拡張のための埋め立ては、自然環境を破壊する恐れがある。陸上側に延長すべき。このことについて、地域住民は、利己主義をやめ、多少の農地の損失は受忍すべき。そうでないと、粟国空港は整備が困難になるのではないか

5. 空港整備の妥当性に関する意見（28件）			
① 航空会社の採算性に関する意見（10件）			
416	1		特産品の開発、工場を作ったりする場所があれば、人口減少に役立つのではと思っています。現状の安い運賃でキャンセル料なしで運航していただくのがBestだと思います。観光名所を増やして定期運航バスで観光ポイントに停車するようしてもらえると良いかと思ひます。 大きな飛行機になると、コスト、収益のバランスで赤字が出るのでは と思っています。粟国の将来の為に頑張って下さい。
417	2		粟国村は自然環境に恵まれておりますが、面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。現在の滑走路を有効利用し、便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい。 39人乗りの機種では、1度に何人か乗れるが、採算がとれないのではないだろうか
418	3		大きな飛行機を導入しても乗客がいるか疑問です。 小さな飛行機で1日2往復運航した方がよいと思います
419	4		39席は現在に比べて大型である。 人口減少の一途を辿っている現在、果たして採算がとれるだろうか。 船も以前に比べ大型化し、毎日運航している。19席の機種でいいのではないか。将来に禍根を残さないためにも、しかと検討すべき思考するものである
420	5		粟国村のことをこよなく愛して下さい。文化的な生活の保障をとるお考えにいたく感動を覚えます。しかし、現在の飛行機でも私1人で乗ったこともありました。人口が少なくなってきたてきております。 採算ベースに本当にあうかどうか気がかりです。 現状のままでもいいと存じます。33億巨費を投入することはムダだと思います。産業を興すことが先です
421	6		現在でも厳しいのに 大型飛行機で採算が取れるかどうか疑わしい。 現行の運用で充分な活用ができると思う
422	7		<ul style="list-style-type: none"> ・現空港を利用する案で19人乗りのプロペラ機を就航させる案がよい ・滑走路延長のA案、B案は33億円、34億円と事業費が高い ・航空会社にプロペラ機(19人乗り)購入支援策を検討すること ・滑走路を延長しても、利用者が少ないと航空会社は撤退する可能性もある
423	8		39名乗りの飛行機が飛んでも利用客が少なければ採算が取れない。 会社事業が成り立つか？運営できるか？色々な問題が解決できないと難しい問題である。
424	9		船舶もあり、現在 第一航空が9人乗りの飛行機を出して赤字経営なのに滑走路を大きくして大型機を就航させるのは甚だ疑問。 大型機を1日1便より小型機を複数回運航させるのが利便性がよい。
425	10		これまでの旅客数は減少傾向にあり、 単に機体を大型化しても事業者からすれば採算が合わなければ、再び撤退する可能性もある。 大型の39乃至50名乗りの機体はチャーター便として修学旅行や夏場の観光シーズンに就航するニーズはあるので、地場産業、インフラ、観光施設の整備など粟国村など関係機関との連携、調整が必要。将来的には地元企業(RAC)が就航するのが望ましく、これまでの確約をしっかりと守っていくよう働きかけていただきたい。
② 航空需要予測に関する意見（6件）			
426	1		<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路が東西に分断されるとあるが、分断しないように海の埋立部分に道路を回すべきだと考える。 ・現空港を活用し、一部埋め立てはやむを得ないと思う。 ・利用客増の見込みが甘い。飛行機の大型化や公的助成をあてにするのではなく、観光スポットの開発や民宿等の拡充など村の取り組みを求めて、具体的方策を示す必要があるのではないか
427	2		利用者がある程度拡大する見込みがなければ、事業化は難しいように思ひます。本報告書で一部希望的な条件下における利用客見込みがありますが、整備に伴う運賃低減等の可能性を含め、 妥当性ある根拠で利用客込みを算定して、 次回のPIに示していただきたいと思ひます。
428	3		粟国村の現状と将来人口の予測で、 既に予測を下回っているのに、本当に利用客は望めるのですか？ 明るい将来展望を目指すのは必要ですが、 その将来展望に基づいて人口を推計し、更に飛行機の利用者数を推計するのは、あまりにも乱暴ではありませんか？ 国民の税金を使って整備するのだから、将来推計の責任者(コンサルではなく役人)を明示し、供用後の追跡調査による検証が必要です。その上で、将来推計が間違っていた場合の責任の所在を現時点で明確にするべきです。
429	4		現在、奄美等以南の離島空港はほとんど全て赤字である。その額も1億を超える。拡張事業に関しては国からの補助を受けられるが、維持管理費は粟国村民を含め沖縄県民が負担することになる。赤字が予測されることを踏まえて空港を整備するのであれば、県民一人一人の負担が増えることが「粟国村のむらづくり」のためになるのか、 人口推移予測や需要予測、観光資源等を含め、より詳細な検討が必要 である。

430	5	<p>粟国村のむらづくりについて、人口の減少傾向にストップをかけるために必要なのは空港整備事業なのか疑問である。住みにくい理由の第一位が保険医療サービスの不足であるならば、空港整備より先に医療福祉の充実を促進すべきではないだろうか。滑走路延長を行うとすると、アセスメント手続き等を含め、長い年月と高い費用がかかる。その時間と費用を保険医療サービスに充てられないだろうか。人口推移について、一概に比較できないかもしれないが、滑走路を拡張した与那国空港では滑走路延長後、人口は減少している。当該調査報告書では、人口増加を第一目標に(定期的運航もあると思いますが)空港を整備しようと計画しているように見受けられるが、空港整備による人口増加の根拠が示されていない。一般論として申し上げれば、空港が整備されれば、利用者は「粟国へはいつでも行ける」と思い、逆に人口は減少するのではないだろうか。</p> <p>また、p6の需要予測について15000人としているが最高値19000人の推定試算方法が示されていないため、利用客の見込み15000人という数字は報告書を読む者にとっては信頼性が低い。</p> <p>「H17年ころまでは人口が1000人未満でも年間の利用客が15000人以上(最大約30000人)いた」としているが、人口と利用客の見込みとの因果関係が明確ではないため、過去のデータに基づいた試算で良いのだろうか。(※右図の表ではH17の利用実績は13882である。誤りではないか。)</p>
431	6	<p>飛行機利用者数が減っているのは理解できるが、船舶の利用者数がどうなっているのか分からないのに、飛行機の搭乗人数を増やしても来島する人が増えるとはいえない。もし、飛行機利用者の需要が多ければ、すでに便数が増加してもおかしくないのに、現状では便数が減っているのに、飛行機を大型化する意味がない。一便あたりの平均利用者数が出ていないのも不可解である。粟国に来島する人のうち、飛行機利用者割合(往復飛行機利用、片道飛行機利用など)が出ていない。就航率も過去の欠航事案を基にして算出してはならず、希望的観測が大きすぎる。飛行機を大型にすることによって、利用料金が高くなるのか安くなるのかも分からない。1日1便の大型機で欠航した場合、損失が大きい。</p> <p>費用対効果についても現状とほとんど遜色がないようにも思えるが、現状では費用対効果が1以上あるかどうか疑わしい。予算の多くが土地買収や漁業補償に割かれるので島全体の活性化につながるかどうか怪しい。</p>
③ 空港整備の費用対効果に関する意見 (2件)		
432	1	<p>①現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用客にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>②A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものではないことから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p3において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかわからないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>
433	2	<p>飛行機利用者数が減っているのは理解できるが、船舶の利用者数がどうなっているのか分からないのに、飛行機の搭乗人数を増やしても来島する人が増えるとはいえない。もし、飛行機利用者の需要が多ければ、すでに便数が増加してもおかしくないのに、現状では便数が減っているのに、飛行機を大型化する意味がない。一便あたりの平均利用者数が出ていないのも不可解である。粟国に来島する人のうち、飛行機利用者割合(往復飛行機利用、片道飛行機利用など)が出ていない。就航率も過去の欠航事案を基にして算出してはならず、希望的観測が大きすぎる。飛行機を大型にすることによって、利用料金が高くなるのか安くなるのかも分からない。1日1便の大型機で欠航した場合、損失が大きい。</p> <p>費用対効果についても現状とほとんど遜色がないようにも思えるが、現状では費用対効果が1以上あるかどうか疑わしい。予算の多くが土地買収や漁業補償に割かれるので島全体の活性化につながるかどうか怪しい。</p>
④ その他 (10件)		
434	1	<p>現空港を活用して安定した運航を望みます。19名乗りで1日2往復あれば良いと思う。先々を考えても滑走路の延長はあまり意味がない。税金のムダ使いになると思われる</p>
435	2	<p>現在人口が減少しており、今後人口増の見込みが薄い空港で、空港整備の必要性がどれ程のものか、納得できる説明がありません。事業の実施そのものをもっと冷静に判断すべきです</p>
436	3	<p>費用を考えると19名乗りの便数を増やし、航空会社へ補助金(例、1億円を25年間)実施した方が33億円投資して拡張するより良いと思う。</p>

437	4	<ul style="list-style-type: none"> ・間10の意味がよく分からない。(運航方法としてどっちが良いかということ？ そうであれば小さな飛行機が良いと思う。) ・最も安いと思われる現空港の滑走路を南側へ延長するだけの案が無いのか疑問。 ・離島空港整備は需要とかと関係無く、地域格差是正の観点から事業を進めるべき。
438	5	那覇-粟国線における座席利用率は60%を下回る。そんな状況で、機材を大型化する必要があるのか全く理解できない。30億円以上もするムダなアスファルトの広場を造れるぐらいなら、航空会社に対して継続運航を手厚く補助することぐらい容易なことではないか。
439	6	<p>粟国は観光で利用しています。島としては宿泊観光を願うのですが、運航が不安定な小規模離島に2日間以上にまたがって滞在することは非常に不安です(初日が晴れていても二日目に天候が悪くなり島を離れられなくなるリスクが大きい)。そこで出来る限り日帰りでの観光をしたいですが、1日1往復ですと日帰り観光ができません。機種が大型・小型うんぬんよりも最低限朝晩2往復は確保できる交通対策を願いたいです(例として朝は船、夕方は飛行機などでも充分)。</p> <p>800m滑走路の長さについて、1機種のみしか離着陸できないような説明がありますが、世の中には短い滑走路でも離着陸できる飛行機は多数あるかと思えます。空港拡張と、飛行機導入+パイロット育成のどちらのほうが費用がかからず早期に実現できるか、より詳細な調査をお願いいたします。</p>
440	7	<p>滑走路整備には反対です。</p> <p>今の状況では、空港を整備しても路線を継続できる保証はないと思います。公共事業で一時的に地元にお金は入るかもしれませんが、その後につながらないと思います。</p> <p>同じ費用をかけるのであれば、チャーター支援に振り分ける方が路線の存続、ひいては粟国村の発展につながると思えます。その制度がないのであれば、制度を変更するよう国に求めるべきだと思います。</p>
441	8	<p>今回の実施計画書における滑走路延長について、パイロットの視点でご意見させていただきます。なおこの意見は琉球エアコミューターのパイロットから意見聴取したものをベースとしております。</p> <p>滑走路A案、B案共に運航上大きな問題となることはなさそうです。それは周辺の地形、また建造物の影響が少ないためです。</p> <p>一方で、現空港において北西風が卓越する場合、ターミナルビルの配置と形状によって気流が乱れることから着陸前に大きな修正を余儀なくされることがあります。そのため、いずれの案が採用となったとしても、今後ターミナルビルを新規に建設する場合、気流の擾乱を考慮したビルの配置、また形状を是非お願いしたいと思えます。そのためにコンピュータグラフィックで風の擾乱を模擬出来るシステム等を利用すると有効かと思われまます。</p> <p>今回の実施計画書にはその辺りについて全く触れられていなかったこと、今回の機会を逃すと適切な時期にこのようなお話をする機会が得られないと考えまして、あえてこのタイミングでご連絡差し上げましたので、ご了承願います。</p>
442	9	粟国村のことをこよなく愛して下さい。文化的な生活の保障をとるお考えにいたく感動を覚えます。しかし、現在の飛行機でも私1人で乗ったこともありまして。人口が少なくなってきました。採算ベースに本当にあうかどうか気がかりです。現状のままでいいと存じます。33億巨費を投入することはムダだと思います。産業を興すことが先です
443	10	<p>粟国村のむらづくりについて、人口の減少傾向にストップをかけるために必要なのは空港整備事業なのか疑問である。住みにくい理由の第一位が保険医療サービスの不足であるならば、空港整備より先に医療福祉の充実を促進すべきではないだろうか。滑走路延長を行うとすると、アセスメント手続き等を含め、長い年月と高い費用がかかる。その時間と費用を保険医療サービスに充てられないだろうか。人口推移について、一概に比較できないかもしれないが、滑走路を拡張した与那国空港では滑走路延長後、人口は減少している。当該調査報告書では、人口増加を第一目標に(定期的運航もあると思えますが)空港を整備しようと計画しているように見受けられるが、空港整備による人口増加の根拠が示されていない。一般論として申し上げれば、空港が整備されれば、利用者は「粟国へはいつでも行ける」と思い、逆に人口は減少するのではないだろうか。</p> <p>また、p6の需要予測について15000人としているが最高値19000人の推定試算方法が示されていないため、利用客の見込み15000人という数字は報告書を読む者にとっては信頼性が低い。</p> <p>「H17年ころまでは人口が1000人未満でも年間の利用客が15000人以上(最大約30000人)いた」としているが、人口と利用客の見込みとの因果関係が明確ではないため、過去のデータに基づいた試算で良いのだろうか。(※右図の表ではH17の利用実績は13882である。誤りではないか。)</p>

6. その他 (37件)		
① 船舶サービスに関する意見 (4件)		
444	1	船の欠航が多く、又繰上げ出港が多い。船を大きくして港をあと1つ作る。風の方向で港を使い分ける。飛行機で行って船で帰る、船で行って飛行機で帰るなど選択が増える。
445	2	空港拡張には反対です。大量輸送できるのは船なので、港のつくりを改善して欠航日を減らす方向がいいと思いますが、厳しいのでしょうか。小さい高速艇を新たに作るなどはどうでしょうか。9席でも満席になる日は限られた曜日だと思うので、そういう日だけ3往復してもらえば助かります。行きたい島になれば、船でもお客さんは来島されると思います。自然を生かした産業づくりが先だと思います
446	3	航空機の大型化により島の振興を図って下さい。20年後粟国島の人口は、500人に減ると予測されます。空港・港湾の整備に今こそ立ちあがって下さい。
447	4	<p>① 現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用者にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>② A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものではないことから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③ 沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p3において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④ 沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤ 那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかわからないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥ 粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦ 可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>
② 粟国村の振興策に関する要望 (15件)		
448	1	人口減少は大きな問題です。人がいなくなれば、自然も社会環境もすべて悪くなると思います。どのように人口を増やしていくか、早く取り組めることは時間をおかず早く取りかかっていくべきだと思います。1度でも島内に足を踏み入れる機会を増やせる様な対策が必要だと思います
449	2	特産品の開発、工場を作ったりする場所があれば、人口減少に役立つのではと思っています。現状の安い運賃でキャンセル料なしで運航していただくのがBestだと思います。観光名所を増やして定期運航バスで観光ポイントに停車するようになってもらえると良いかと思っています。大きな飛行機になると、コスト、収益のバランスで赤字が出るのではと思っています。粟国の将来の為に頑張ってください。
450	3	今後観光客誘致により、利用者増を見込むのであれば、1日に複数の時間帯出発で設定した方が、より多くの選択肢を供与できて、利用者にとっては便利である。節約できたお金を観光客や住民にとって魅力のある(ハード面、ソフト面)サービス構築費用にしようか。例えば、村営住宅を造って(又はリフォーム)、移住者を呼びこむなど
451	4	島でしかできない農産物、島の条件を活かした畜産の複合体の農業を発展させてほしいと思うし、自然や環境、古民家を大切に保存してもらいたい。都会にない島の良さ、大事なことを若い者が学び、何かを感じとり、また来なくなる様な、大切にしたいような島になってほしい
452	5	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者15000人達成のための粟国村振興施策の実施 ・観光業者との協議による観光関連施策の開発(長期滞在型観光施策)
453	6	粟国村のことをこよなく愛して下さい。文化的な生活の保障をとるお考えにいたく感動を覚えます。しかし、現在の飛行機でも私1人で乗ったこともありまして。人口が少なくなってきました。採算ベースに本当にあうかどうか気がかりです。現状のままでもいいと存じます。33億巨費を投入することはムダだと思います。産業を興すことが先です
454	7	現在の需要予測の1万5千人程度で1日1往復はしょうがないが、最低1日2往復あることが需要の喚起を呼ぶものと思われる。最盛期には約3万人の乗降客数があった空港で、機材の小型化及び船舶の毎日運航の影響で減少していること、元々観光客の少ない島なので、観光客の誘致が最も大事と考える

455	8	<ul style="list-style-type: none"> ・現空港の有効活用の観点から、19席のプロペラ機を就航させることが可能であれば、その方がベストと考える。 ・P2のS60～H17まで村の人口はほぼ横ばいであるのに、利用客(飛行機H10、船舶H15)が約3万人から減少しているのは何が原因なのか。今後需要を伸ばすためにはどのような施策が必要なのかが見えない
456	9	<ul style="list-style-type: none"> ・産業(観光客、つり客、ダイビング)などの自然環境の推進、粟国の観光アピール等の知名度アップ等地域全体の総合的な見直しが必要 ・土地利用、非農地の活用、空港物流を構築し、安定した農業
457	10	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路が東西に分断されるとあるが、分断しないように海の埋立部分に道路を回すべきだと考える。 ・現空港を活用し、一部埋め立てはやむを得ないと思う。 ・利用客増の見込みが甘い。飛行機の大型化や公的助成をあてにするのではなく、観光スポットの開発や民宿等の拡充など村の取り組みを求めて、具体的方策を示す必要があるのではないかと
458	11	将来的にも就航可能な航空機を有する航空会社の定期就航する意志を確保することが絶対条件である。航空会社の採算性の確保、つまり旅客需要を確保するためには、交流人口の拡大が必須であり、粟国村において観光資源の開発・再整備により魅力的な島づくりを推進することが重要と考えます。併せて、運賃の低減化に向けて、国、県、村の補助制度の充実を図ればと願っています
459	12	祭など、県民や県外からの観光客の目を引く行事を増やせば良いと思う
460	13	観光客の入域も少しずつ減ってます。粟国村をもっとPRしてください。早期整備をお願いします。それぞれの民宿経営者を見ずてないで下さい。
461	14	沖縄に来るリピーターの多くは本島内では満足できずに、交通の便と自分の休暇日数を比べながら自分だけの沖縄を探しに来ています。そのリピーターを取り込み、沖縄の隅々まで足を運んでいただけるような整備の在り方が望ましいと考えます。
462	15	<p>①現空港を活用する案では1日2往復であるが、A案B案では1日1往復となる。利用客にとっては便数が多い方が望ましいため、現空港を活用する案を支持する。現空港の活用案で粟国～那覇間の路線廃止が懸念されるのであれば、現空港を活用する案の「運航可能な航空会社の誘致・確保」がどの程度難しいのか、コスト面等わかりやすく公表して欲しい。</p> <p>②A案はリーフが埋め立てられてしまうことから「粟国村のむらづくり」の基本構想(自然と人と暮らしのよりよい関係性をしっかりと築く)に矛盾し、埋立海域も自然度ランクIであることから、環境保全の観点から望ましくない。B案でも地元村民(地権者)の同意が必要であり、アセスメント手続きを含め事業実施には長期間の年月がかかることや、B/Cの算定が確定したものではないことから、欠航が少なくなる可能性があるとのメリットはあっても、デメリット(維持管理費のコストや環境面)の方が大きいと考えるため支持できない。</p> <p>③沖縄県は観光客数増加を目指し、現在、伊平屋空港、石垣空港、那覇空港などの空港整備を進めている。だが、p31において、粟国住民72%が住みやすいと回答し、その理由が「自然が豊かである。」「のんびりできる」との回答をしている。観光客誘致のみを目的として粟国空港を整備するのではないと思うが、経済的発展に主眼を置いた空港整備は避けて欲しい。</p> <p>④沖縄に観光客が何を求めてやってくるのかを考えると、住民回答と同じように「自然が豊かである」ことや「のんびりできる」ためではないだろうか。近年のエコツーリズム等の観光の側面から考えても、島の自然度をできるだけ保つことが将来的には粟国村のためになるのではないかと考える。</p> <p>⑤那覇から粟国まではフェリーで2時間と短く、乗船料も航空運賃の1/2以下である。住民はフェリーと航空機どちらを利用しているのかわからないが、フェリーをよりよく利用しているのではないかと考える。また、お金がない観光客はフェリーを利用すると考える。フェリーの充実を図って欲しい。</p> <p>⑥粟国住民意見と環境面を優先して検討して欲しい。</p> <p>⑦可能であれば、埋立や牧場開発を行わず(A案もB案も実施せず)、現空港を活用する案を検討し、医療福祉の充実や観光資源の活用及びフェリーサービスの充実などソフト面の対策によって粟国村のむらづくり(人口増加の目標達成等)を行って欲しい。</p>
③ その他 (18件)		
463	1	<ul style="list-style-type: none"> ・整備事業の目的が不明である⇒人口減少ストップ＝空港整備？ ・1日片道1便で良いのでは。那覇→伊江→粟国→外地と遊覧が楽しめる空路で、宿泊が期待できる
464	2	整備計画には大反対です。そもそも人口減少の理由は、仕事がないことと病院の有無による所が大きい。空港を何とかすれば良いというものではない。人口を800人から1000人にするために莫大な税金を使うなんて、大バカ者のすることです。一部の関係者の金目的なのがみえみえです
465	3	県外の人間ですので、dryに意見します。粟国島へ行ったことがあります。自然豊かでいいところですが。しかし日本全体を見渡したとき、人口減少社会になり、今後住みにくいところは確実に人口減少することが予想できること、税金の再配分は必要ですが、基本的には払えないところには補助に限界があることを考えると、多額の費用をかけてpayできない空港を整備するのはナンセンス。作りたいなら、自力で考えるしかありません。それよりも2000人にならないなら、全員で本島に移住するなど考えた方が良いかもしれません。結果的に安くつくはずですよ。
466	4	那覇に住んでいて、故郷に行く機会が少ない私共にとっては正直よくわからないのです。やはり故郷に住んでいる人、頻繁に行き来する人の意見が重要です。もちろん故郷がより住み易くなることを心から願っております
467	5	理解できたと申ししても文章上のこのみです。実際に現地に立ってみないとわからないと思います
468	6	飛行機で新聞、郵便物、食糧が運べるようになってほしい。地層、海洋学の研究者が訪れる島になってほしい(自然環境を大事に次世代に残してもらいたい) 富裕層の人達が癒しを求めて来る島、都会の子供達がいろんな体験をして学び、癒される島になってほしい
469	7	気軽に訪れることができるようにして下さい

470	8	事業費が予定金額と実際の金額との差が大きくなる可能性がどのくらいあるのかがはっきりしない
471	9	まだ粟国島を訪れた事はありませんが、いつか行ってみたい島です。島の発展を望んでいます
472	10	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が分断されないのでB案が良い ・空港から集落までの送迎サービスを行ってほしい。これがあれば運賃が船よりも高くても利用する ・大きな飛行機にして、飛行機の粟国での滞在時間を長くすれば良い
473	11	定住人口の増加が期待
474	12	今よりも大きいくしてほしい
475	13	現在より大きくして
476	14	空港整備としてはA案とB案を良く検討すべきですが、一方では短距離離発着の高性能小型旅客機を作ることが大切です。このような開発を進めることも考えた方がいいですね。
477	15	<p>粟国村の現状と将来人口の予測で、既に予測を下回っているのに、本当に利用客は望めるのですか？ 明るい将来展望を目指すのは必要ですが、その将来展望に基づいて人口を推計し、更に飛行機の利用者数を推計するのは、あまりにも乱暴ではありませんか？ 国民の税金を使って整備するのだから、将来推計の責任者（コンサルではなく役人）を明示し、供用後の追跡調査による検証が必要です。その上で、将来推計が間違っていた場合の責任の所在を現時点で明確にするべきです。</p>
478	16	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で沿岸道路を分断せず、空港を迂回する道路も検討されているのでしょうか。 ・滑走路が延長されたら、39人乗りの運航可能性が高いのでしょうか。
479	17	<p>沖縄県だけでなく他府県でも農村、漁村の田舎の過疎化は深刻です。高速道路、新幹線、空港が整備されても若者はむしろ都会に出向き都会に定住しているのが現状です。そのような中で粟国島に限らず伊是名・伊平屋島の空港もそうですが、果たして空港を整備したとしても過疎化に歯止めがかかるのでしょうか。まず農業、漁業を振興し若者が定着できるような方策を検討するとともに、都会の人が観光で何回でもまた長期間滞在したいと気持ちを起こさせるような施策を検討することが先決ではと思うのですがいかがでしょうか。乗客がいなければおそらく就航する航空会社もないことでしょう。田舎の人口を増やす施策の一つに空港整備もあるかとは思いますが、他府県の事例のように交通手段が整備されても現実には過疎化が進んでいるという状況を今一度、じっくりと考えても良いのではと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
480	18	<p>住みにくい理由の1番ではなく、2番目に多い「本島との交通が不便」についての課題検討に入っていく箇所に若干の違和感を感じました。 また、51においての整備案でA案は評価ランクⅡの農業用地や土地改良区が評価ランクⅠの沿岸より優先されているように見受けられるが理由が明確でないと感じました。</p>